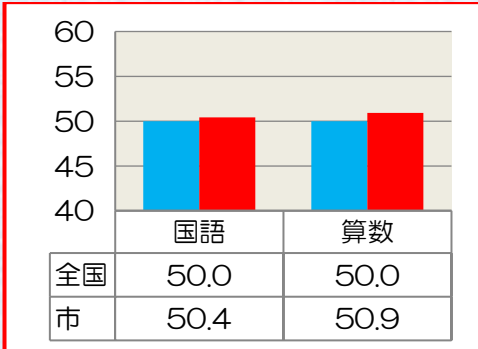
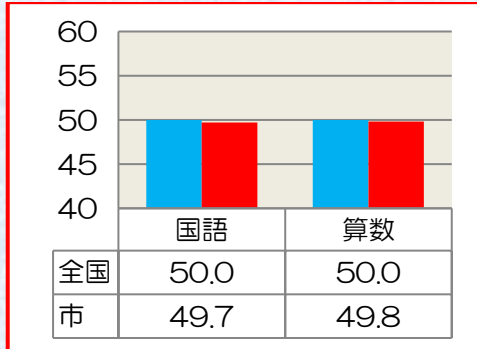


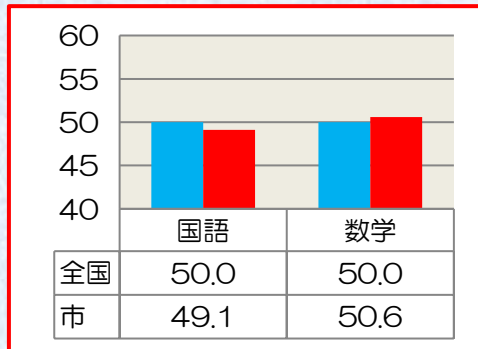
【 小学3年生 】



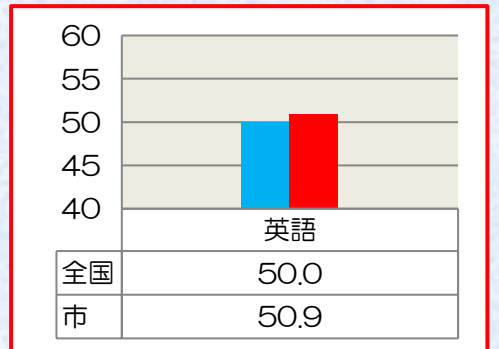
【 小学4年生 】



【 中学1年生 】



【 中学2年生 】



各学力調査の対象学年・教科

◇長崎市学力調査
小学3・4年生 (国・算)
中学1年生 (国・数)
中学2年生 (英)

◇長崎県学力調査
小学5年生 (国・算)
中学2年生 (国・数)
中学3年生 (英)

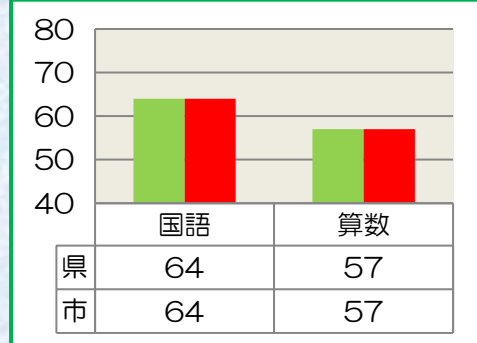
◇全国学力・学習状況調査
小学6年生 (国・算)
中学3年生 (国・数)

※市学力調査の数値は標準偏差を、
県・全国学力調査の数値は正答率
を示しています。

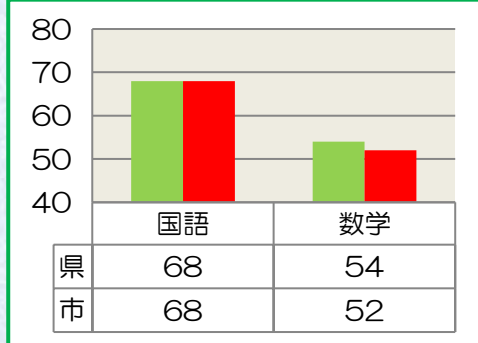
各学力調査の実施日

◇国・算/数 平成29年4月18日(火)
◇英 平成29年4月19日(水)

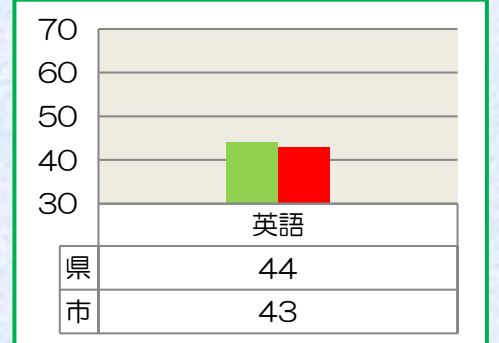
【 小学5年生 】



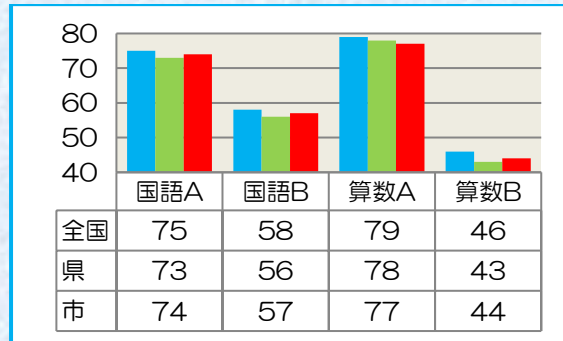
【 中学2年生 】



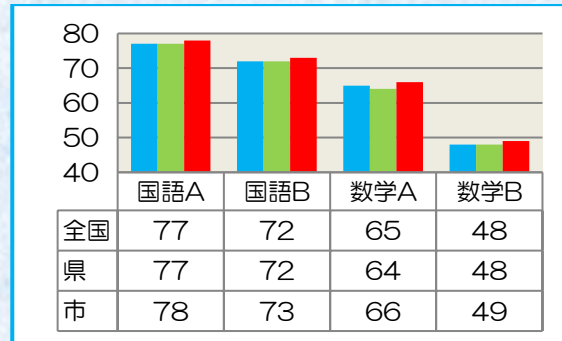
【 中学3年生 】



【 小学6年生 】



【 中学3年生 】



全国学力・学習状況調査
A：主として「知識」
に関する問題
B：主として「活用」
に関する問題

■ 全国
■ 長崎県
■ 長崎市

全国学力・学習状況調査結果の概要と改善の方向性

1 学力調査結果の概要

(1) 良好な項目

- 小学校国語では、漢字を正しく読むこと、登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉えることで改善が見られた。中学校国語では、話し言葉と書き言葉との違いを理解することや、事実と考えとの関係に注意し、構成を工夫して話すことに成果が見られた。
- 小学校算数では、2つの数量関係を図に表す問題に成果が見られ、中学校数学では、関数及び資料の活用分野における問題に成果が見られた。

(2) 課題がある項目

- 小学校国語では、図表やグラフを用いて自分の考えを書いたり、叙述を基に理由を明確にして自分の考えをまとめたりすることに課題が見られる。中学校国語では、古文と現代語訳とを対応させて内容を捉える問題に課題が見られる。漢字を正しく書くことは、小・中ともに課題が見られる。
- 小学校算数では、二次元表の中の数の意味を正しく解釈して記述する問題に課題が見られ、中学校数学では、論理的に筋道を立てて推論する問題に課題が見られる。

2 児童生徒質問紙調査 (生活習慣や学習環境等の調査) の結果の概要

(1) 良好な項目

- 昨年度から継続して、小・中学生ともに、全国平均に比べ、「学校に行くのが楽しい」と感じており、「自分にはよいところがある」、「いじめは、いけない」、「人の役に立ちたい」と思っている割合も高く、良好である。
- 昨年度から継続して、小・中学生ともに、テレビゲームやスマートフォン等の長時間使用の割合は、全国平均に比べ特に低く、良好である。(PTA と連携した取組の成果と捉えている。)

(2) 課題がある項目

- 「将来の夢や目標をもっている」や「難しいことでも失敗を恐れず挑戦する」と回答した割合は、昨年度から増えたものの全国に比べ低い。
- 小学生の「家庭で学校の復習をしている割合」、中学生の「家庭で勉強する時間 (学習塾等を含む)」が全国に比べ低い。



3 改善の方向性

- ① 基礎・基本定着のための方策 ⇒ (例) 「あじさいBOX」や県の学習プリント集などを活用した全校一斉の取組
- ② 課題改善のための授業づくり ⇒ (例) 「自分の考えやその理由等を書く力」、「情報を整理し、理解する力」を伸ばす授業づくり
- ③ 家庭学習の習慣化と質的向上 ⇒ (例) 小：今日、学習したことの復習の徹底、中：自分で計画を立てての実践継続
- ④ 夢や目標に向かって挑戦する力の育成 ⇒ (例) 小学校からのキャリア教育の充実や体験活動を重視した取組

学校・家庭・地域が一丸となった継続的な取組の推進